

## 第3回 ICT 国際戦略アドバイザー会議 議事要旨

### 1. 日時

平成28年1月12日（火）11:00～12:00

### 2. 場所

中央合同庁舎2号館7階 省議室

### 3. 出席者

#### (1) 構成員

内永構成員、岡構成員、坂村構成員、村井構成員、村上構成員、矢野構成員

#### (2) 総務省

松下総務副大臣、桜井事務次官、阪本総務審議官、今林情報流通行政局長、福岡総合通信基盤局長、山田情報通信国際戦略局長、富永官房総括審議官、南政策統括官、森情報通信国際戦略局次長

### 4. 議事要旨

#### (1) 松下総務副大臣挨拶

開会にあたり、松下総務副大臣から挨拶が行われた。

#### (2) G7香川・高松情報通信大臣についての意見交換

情報通信大臣会合で扱うべき議論について、構成員からそれぞれ意見があった。主な意見は以下のとおり。

##### ① イノベーションと経済成長

- 日本のオープンデータの整備について、アピールすべき。
- 人工知能の開発にあたっては、人工知能を如何にコントロールしつつ開発を進めるか配慮すべき。

##### ② 情報の自由な流通とサイバー空間における安心安全の確保

- テロ対策問題を念頭において議論を行うべき。
- データの域外への持ち出しに対してセンシティブな国がある一方、科学技術の研究開発にとってデータの流通は重要。両者のバランスを考えた上で、データのロケーションと流通について議論すべき。

##### ③ 地球規模課題の解決とデジタル連結性

- 世界的なインフラ整備を進めるにあたっては、G7各国が協力して、ハイテクノロジーを使ったネット整備を一気に実施する必要がある。
- G7以外の他国に、G7の国々が何をすべきかを議論すべき。日本が議長国として何ができるかを提言すべき。
- 国際協力を進めるにあたっては、デジタルディバイドが拡大しないよう、包摂的な国際標準化を進める必要がある。

- 地球規模課題の解決について、抽象的な議論にとどまるのではなく、分野を1つか2つに絞り、具体的にアピールすべき。
  - 地球規模課題の内、特に「女性、ジェンダー平等」への配慮が重要。
- (3) その他
- 第4回会議については、後日日程調整することとなった。

以上